山形県森林研究研修センター要覧

令和７年４月

大沼と試験実習林（西川町）

山形県森林研究研修センター
〒991-0041
山形県寒河江市大字寒河江丙 2707
電話：（0237）84－4301
FAX：（0237）86－9377

過去の研究成果等はセンターホームページへ
http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/142003/

1 組織

◆総務課

センターの施設の維持管理・運営等に関する業務の実施

◆研究部門

・研究企画部

試験研究の企画、予算の調整、研究情報の発信等の実施

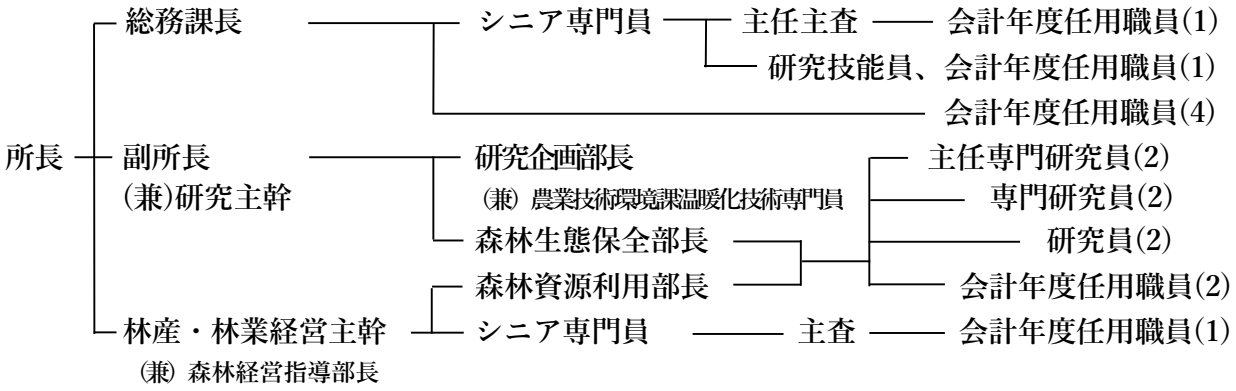
・森林生態保全部・森林資源利用部

森林の育成、病虫獣害防除、県産木材の利用拡大、特用林産物の栽培・増殖林木育種等に関する試験研究・調査等の実施

◆普及部門

・森林経営指導部

森林・林業技術の普及、林業後継者等の育成、各種研修等の実施



★職員数

事務職員	技術職員	技能労務職員	会計年度任用職員	合計
3人	14人	1人	9人	27人

2 沿革

昭和33年7月	山形県林業指導所発足
昭和37年4月	山形県薬用植物園併設
昭和48年4月	山形県立林業試験場に改称
昭和50年3月	林業試験場試験実習林を設定
昭和53年3月	林業試験場研修館竣工
昭和59年9月	林業試験場本館竣工
昭和61年4月	山形県林木育種場を統合
平成10年4月	山形県森林研究研修センターに改称
平成15年4月	森林課(現：森林ノミクス推進課)から普及指導部門を移設
平成20年3月	山形県薬用植物園廃止

3 施設

（1）本場（4.3ha） 寒河江市大字寒河江

・本館 ・研修館 ・林業機械実習棟 ・木材加工実験棟 ・きのこ研究棟
・生物工学実験棟 ・木材乾燥実験棟 ・車庫 ・昆虫飼育舎 ・温室 ・ミストハウス
・鉄骨ビニール温室

（2）林木育種園（31.2ha） 鶴岡市羽黒町手向

（3）試験実習林（59.6ha） 西村山郡西川町大字沼山

4　試験研究（森林生態保全部・森林資源利用部・研究企画部）

『やまがた森林（モリ）ノミクス』※を発展、加速させていくため、５つの研究開発の方向性に沿ったさまざまな試験研究を実施しています。

① 林業の発展を支える本県オリジナル品種の開発
② 産業の構造・生産基盤の変化に対応した林業者の収入向上・経営安定を目指す技術の開発
③ 社会・経済環境の変化に対応して競争力強化を実現する新たな価値を創出する技術の開発
④ 自然環境の変化に対応し、ＳＤＧｓに寄与する技術の開発
⑤ 先端技術を活用した先導的技術・手法の開発

※「やまがた森林ノミクス」とは
先人から受け継いだ山形県の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として余すところなく活用し、林業の振興や雇用の創出を図り、地域活性化を推進する取組みのことです。

① 林業の発展を支える本県オリジナル品種の開発

◈林木等の優良品種の開発

➤特定母樹等緊急育成事業（県単：H25～）
・成長や材質に優れ花粉症に有効な「特定母樹」や、積雪地で格段に初期成長が優れたスギ品種等を開発する。

◈きのこ・山菜等の優良種苗と生産技術の開発

➤生産現場に適したきのこ系統の選抜（県単：R4～R8）
・県内きのこ生産現場の多様な条件に合わせて、栽培しやすい優良きのこ系統を選抜する。

➤優良種苗等普及保全管理事業（県単：H25～）
・優良きのこ種菌のための継代培養や栽培適応調査を行う。

➤山の幸振興対策支援事業（県単：H27～）
・きのこアドバイザーと連携して、きのこの生産者への技術指導を行う。

スギ特定母樹の選抜

② 産業の構造・生産基盤の変化に対応した林業者の収入向上・経営安定を目指す技術の開発

◈低コストで生産性の高い林業技術の開発

➤スギ人工林の適正管理に向けたゾーニング技術の開発（県単：R6～R8）
・高精度な森林情報を活用して、木材生産機能の高いスギ林をランク付けしたゾーニングマップを作成し、森林資源を管理する。

➤下刈り作業の軽労化・省力化に関する調査（国庫交付金：R5～R7）
・盛夏を避けた作業時期の見直しや、下刈り期間の短縮を検討する。

➤休耕田を活用した造林苗木の育成技術の開発（受託：R5～R9）
・コンテナ苗の休耕田を活用した水耕栽培の実証を行う。

➤特定母樹等スギ種子増産事業（県単：H29～）
・今後の造林需要に応えるため、スギ新品種（特定母樹）ミニチュア採種園の造成を行う。

下刈り作業の省力化調査

スギ特定母樹閉鎖型採種園

③ 社会・経済環境の変化に対応して競争力強化を実現する新たな価値を創出する技術の開発

◈県産木材や特用林産物の価値向上技術の開発

➤広葉樹材の高価格取引に向けた伐採・採材手法の調査
（国庫交付金：R5～R7）
・県産広葉樹材の付加価値を高めるため、伐採作業の改良や採材時のマニュアルを作成する。

➤山菜（ワラビ、ネマガリダケ）の鮮度保持技術の開発
（県単：R6～R8）
・生出荷の販路拡大を図るため、鮮度低下の特性を明らかにし、鮮度保持技術を確立する。

➤県産モウソウチクの新たな活用方法の開発（県単：R5～R7）
・竹林の荒廃抑止と需要拡大を図るため、メンマ加工に適したタケノコの生産方法を明らかにする。

➤代替肉原料のための効率的なきのこ菌糸体培養技術の確立
（受託：R5～R7）
・きのこの菌糸体を代替肉の原料にするため、きのこ菌糸を効率的に大量増殖できる品目の選定と培養技術を開発する。

原木市場の広葉樹

モウソウチクの活用

きのこ菌糸体培養状況

④ 自然環境の変化に対応し、SDGs に寄与する技術の開発

◈安全な生活環境を形成する森林育成技術の開発

➤松くい虫被害を受けた庄内海岸クロマツ林の再生技術の開発
（県単：R5～R9）
・松くい虫被害により生じたギャップを速やかに復元するため、広葉樹等の育林技術を検討する。

➤被害拡大防止に向けた森林病虫獣害調査
（国庫交付金：R6～R10）
・県内で発生する森林病虫獣害の実態調査と、ICT を活用した効率的な被害把握の調査手法を開発する。

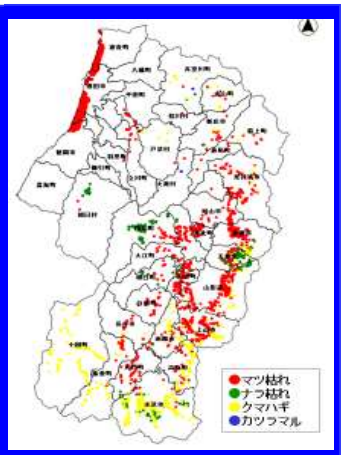
➤森林生態系保全モニタリング事業（県単：H29～）
・自然公園を含む森林での大規模な森林被害のモニタリングを行う。

➤無人ヘリコプターによる松くい虫予防散布生物影響調査
（国庫補助金：H22～）
・散布した薬剤の鳥類、昆虫類、土壌動物類に対する影響調査を行う。

➤獣害忌避剤の適用拡大に向けた基礎試験（受託：R7）新規
・塗布忌避剤によるニホンノウサギの新植苗食害に対する防除実証試験を行う。

➤荒廃森林モニタリング調査（県単：H29～）
・適切に手入れされていなかった森林において、整備後の植生変化等のモニタリングを行う。

➤マツノザイセンチュウ抵抗性育種事業（県単：H7～）
・接種検定による抵抗性マツの選抜と種苗生産を行う。



R6 森林病虫獣害被害状況

散布薬剤の影響調査

クロマツの接種検定

◈地球温暖化防止に貢献する未利用資源の活用技術の開発

➤ユリノキ等の早生樹における造林初期の成育特性の解明
（県単：地球温暖化対応プロジェクト：R7～R11）新規
・ユリノキ等の早生樹種の多雪寒冷地における成長特性を明らかにする。

早生樹試験地の造成

⑤ 先端技術を活用した先導的技術・手法の開発

◈低コストで生産性の高い林業技術の開発

➤スマート林業推進事業（県単：R5～）
・林業の ICT 化に向け、省力化等の実証を行う。

➤被害拡大防止に向けた森林病虫獣害調査
（国庫交付金：R6～R10）［再掲］
・県内で発生する森林病虫獣害の実態調査と、ICT を活用した効率的な被害把握の調査手法を開発する。

丸太検知アプリの実証

令和 7 年度研究開発課題の事業区分別課題数　21 課題

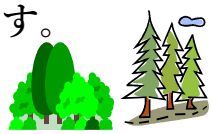
- ▽ 試験研究費　12 課題（県単独事業：６課題、国庫事業：３課題、受託試験：３課題）
- ▽ 林木育種関係　３課題
- ▽ 行政との連携課題　６課題

【ドローンを活用した森林被害モニタリング調査】

【スギ特定母樹の閉鎖型採種園（鉄骨ビニール温室）】

5　技術普及・人材育成・研修（森林経営指導部）

『やまがた森林（モリ）ノミクス』の発展、加速化に向けて、森林資源を上手に利用しながら、健全で多面的機能の高い森林の整備につなげる「使う林業」を進めるため、森林・林業技術の普及、林業経営を担う人材の育成、各種技術研修、森林経営の指導及び試験研究情報の収集・提供を行っています。

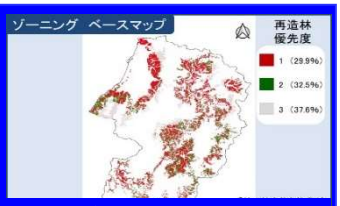


① 技術普及

◈林業技術者等活動促進

➤林業技術現地適応化（国庫）
・スギ人工林の生産適地をゾーニングした研究成果の現地適応化を図る。

➤技術情報誌等の作成・配布（国庫）
・研究部門の技術成果を基にした、森林・林業技術の手引き書や林業普及指導員の普及活動事例集等を作成・配布する。



ゾーニングマップ

手引き書や事例集

② 人材育成

◈林業経営者支援

➤山形県林業士（指導・青年）養成研修（県単）
・地域林業の中核となる林業士の新たな認定者を養成するため、林業技術や林業経営の向上・改善の研修を実施する。

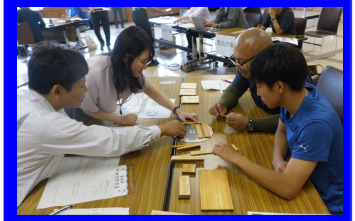
➤青年林業士スキルアップ研修（県単）
・地域林業の次世代リーダーとしての青年林業士の資質向上を図るため、県産木材の安定供給や再造林・木材利用促進等の研修、農林大学校林業経営学科学生との意見交換等を実施する。

➤山形県指導林家・林業士等研修（県単）
・地域林業の模範・指導者である指導林家・指導林業士等の林業技術向上と林業経営改善等を図る研修を実施する。

➤森林作業道作設技術者養成研修（国庫）
・林業経営体職員を対象に、簡易で丈夫な森林作業道を作設できる技術者を養成する研修を実施する。

➤林業技術者技術向上研修（国庫）
・森林施業プランナーや林業経営体職員等を対象に、ICT 技術を用いた森林作業システムの構築や、高性能林業機械の操作技術の習得について研修を実施する。

林業士認定証交付式


青年林業士スキルアップ研修

指導林家等研修

林業技術者技術向上研修

林業技術者技術向上研修

森林作業道作設技術者養成研修

③ 各種研修

◈林業技術向上

➤デジタル技術普及研修（県単）

・県の森林技術職員や市町村の担当職員等を対象に、ICT 技術の基礎知識や森林資源調査、路網作設技術等の習得に効果的なカリキュラムを活用し、スマート林業を推進するための研修を実施する。

➤森林技術職員基礎研修（県単）

・県の森林技術職員や市町村の担当職員等を対象に、林野行政の円滑な業務を行うため、伐木造材作業者特別教育や刈払機取扱作業者安全衛生教育のほか、基礎的な知識・技術を学ぶ研修を実施する。

➤森林技術職員技術研修（国庫）

・県の森林技術職員や市町村の担当職員等を対象に、特用林産や林業経営に関する各分野の技術向上のための研修を実施する。

➤緑の雇用集合研修（依頼）

・林業経営体職員（フォレストワーカー・リーダー）を対象に、森林施業に関する知識・技術の習得のための研修を実施する。

デジタル技術普及研修

森林技術職員基礎研修

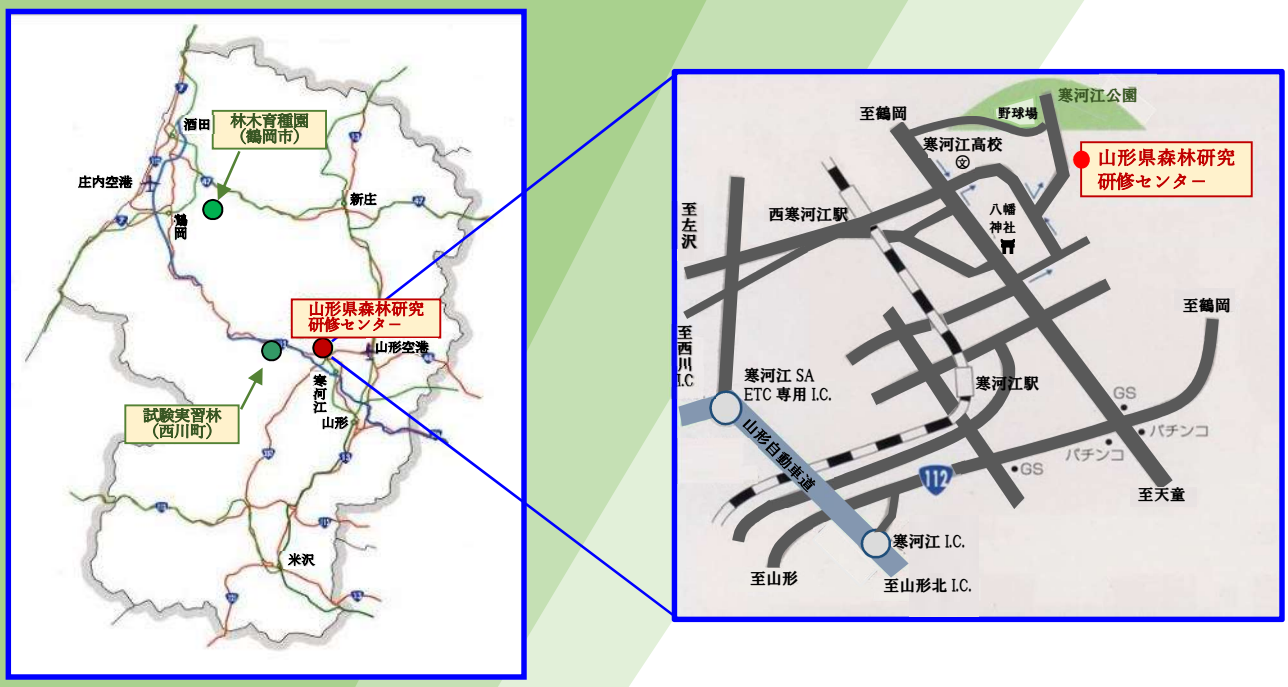
森林技術職員技術研修

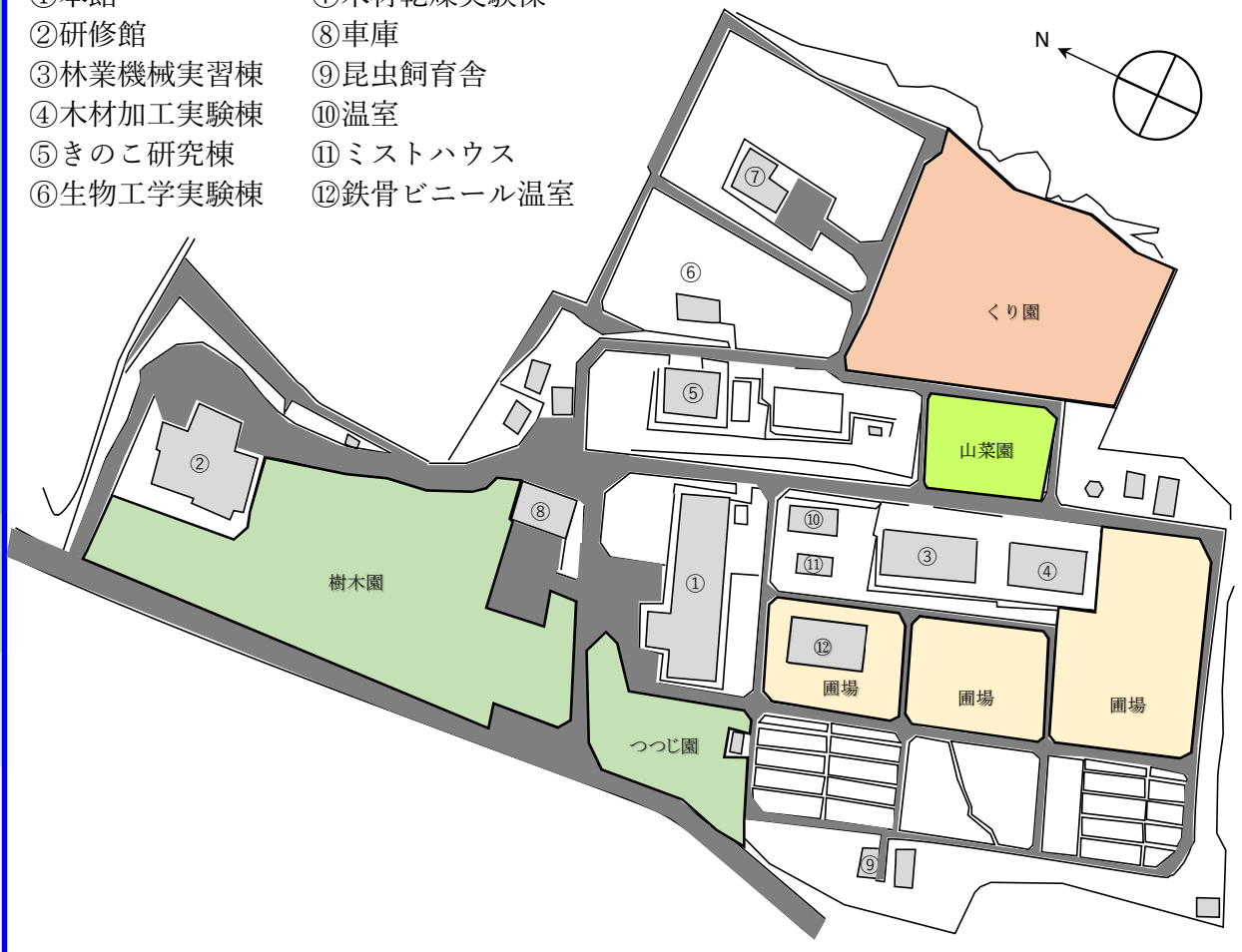
緑の雇用集合研修

緑の雇用集合研修

森林技術職員技術研修

【案内図】



【構内図】

①本館
②研修館
③林業機械実習棟
④木材加工実験棟
⑤きのこ研究棟
⑥生物工学実験棟
⑦木材乾燥実験棟
⑧車庫
⑨昆虫飼育舎
⑩温室
⑪ミストハウス
⑫鉄骨ビニール温室